

付着生物ラーバ情報

出荷時期のユウレイボヤの付着は西湾では少なく、東湾の一部ではやや多くなる可能性が考えられます

1 3月中～下旬のラーバ出現状況

付着生物ラーバ調査地点は図1、ラーバ出現数は表1、10～3月のユウレイボヤラーバ累積出現数等は表2、出現数の推移は図2～5のとおりです。

(1) ユウレイボヤラーバ

全調査地点で出現が見られませんでした(表1、図2)。

(2) ムラサキイガイラーバ

奥内で34.2～257.5個/m³、久栗坂で33.9～65.0個/m³、野辺地で7.0～14.8個/m³、川内で75.0個/m³見られました(表1、図3)。

(3) キヌマトイガイラーバ

奥内で5.8～310.0個/m³、久栗坂で41.7～68.9個/m³、野辺地で7.8～11.7個/m³、川内で62.5個/m³見られました(表1、図4)。

(4) ミネフジツボラーバ

奥内0.8個/m³、野辺地で0.8個/m³、川内で3.1個/m³見られました(表1、図5)。

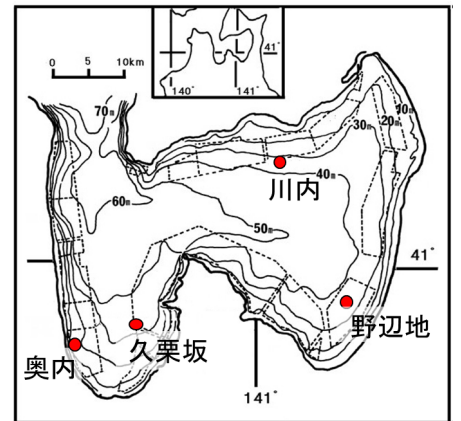


図1 付着生物ラーバ調査地点

2 今後の見込み

(1) ユウレイボヤ

陸奥湾におけるユウレイボヤは、①10～3月のラーバ累積出現数が5個/m³未満の場合は翌春の養殖籠への付着量が少ないこと、②5個/m³以上でも12～3月の中層の平均水温が8℃以上であれば付着量が少ないことが分かっています。

10～3月の累積ラーバ出現数は、奥内で4.0個/m³、久栗坂で4.7個/m³、野辺地で7.9個/m³、川内で0.0個/m³と、全調査地点で前年(奥内:64.2個/m³、久栗坂:32.5個/m³、野辺地:17.2個/m³、川内:7.0個/m³)よりかなり少ない状況です。

3月25日現在の12～3月における中層の平均水温は青森ブイ15m層で8.3℃、野辺地ブイ10m層で6.8℃、東湾ブイ15m層で6.4℃と、西湾で8℃以上、東湾で8℃未満となっています。

以上のことから、出荷時期のユウレイボヤの付着は、西湾では少なく、東湾の一部海域ではやや多くなる可能性が考えられます。

(2) ムラサキイガイ

ラーバが出現していますが、秋から冬生まれのラーバの養殖籠への付着は少ないことが分かっています。

(3) キヌマトイガイ

ラーバの出現が多い海域では、籠等への付着が増加することが考えられます。

(4) ミネフジツボ

全地点で減少傾向であることから、付着は終盤であると考えられます。



表1 令和8年3月中～下旬のラーバ出現数

単位:個/m³

調査地点	調査月日	ユウレイボヤ	ムラサキイガイ	キヌマトイガイ	ミネフジツボ
奥内沖	3月16日	0.0	34.2	5.8	0.0
	3月23日	0.0	257.5	310.0	0.8
久栗坂沖	3月17日	0.0	65.0	68.9	0.0
	3月23日	0.0	33.9	41.7	0.0
野辺地沖	3月17日	0.0	14.8	11.7	0.8
	3月23日	0.0	7.0	7.8	0.8
川内沖	3月17日	0.0	75.0	62.5	3.1

表2 10～3月のユウレイボヤラーバ累積出現数、12～3月中層平均水温、4月のユウレイボヤ付着量

調査地点	R5年度			R6年度			R7年度		
	10-3月累積出現数(個/m ³)	12-3月中層平均水温(°C)	4月付着量(kg)	10-3月累積出現数(個/m ³)	12-3月中層平均水温(°C)	4月付着量(kg)	10-3月累積出現数(個/m ³)	12-3月中層平均水温(°C)	4月付着量の予想
奥内沖 (奥内ブイ)	39.3	9.0	24.09	64.2	9.2	11.89	4.0	-	少
久栗坂沖 (青森ブイ)	12.4	8.8	2.23	32.5	9.2	2.58	4.7	8.3	少
野辺地沖 (野辺地ブイ)	4.7	7.0	0.03	17.2	7.8	14.71	7.9	6.8	やや多
川内沖 (東湾ブイ)	7.9	6.8	0.08	7.0	7.3	-	0.0	6.4	少

※付着量はパールネット1連に付着したユウレイボヤの重量

※「-」は欠測